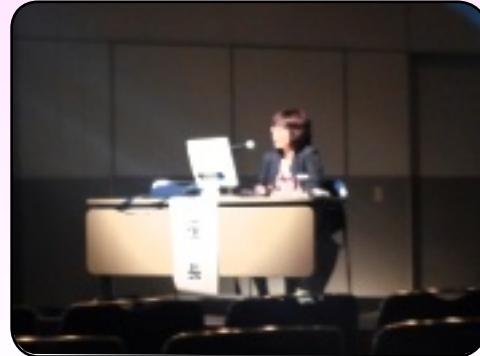


全国介護老人保健施設大会

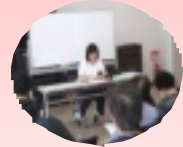
9月3日、4日に第26回老健大会が神奈川で行われました。うららからは関相談員が発表しました。私は認知症分野の座長として参加させていただきました。「高齢者が輝く未来を」をテーマに5千4百人の参加者があったと聞きます。高齢者のより良いケアのために、各自事例研究に取り組みその成果を発表されています。聞く人、発表する人それぞれの熱気が伝わりました。

うららも利用者さんが笑顔で過ごせるようにより一層頑張っていきたいと思えます。

療養部長 堤 裕紀恵



地域交流



平成27年9月10日(木) 上淡河福祉センターで開催された健康教室へ出張講師として、認知症ケア上級専門士である堤療養部長とともに訪問。当日は「認知症を予防する生活上の工夫」について資料を配布しながら講演しました。他にもデイケアで行っている脳トレなども紹介。皆さん真剣に聞き入れ、家族の認知症相談などの質問もありました。

もし、身近な方で認知症でお困りの方や、もしかしたら?と思われましたらいつでもうららへご相談ください。医療や介護、認知症、運動などの相談もお受けしますので、身近な相談窓口としてお役立てください。

地域交流室 関 栄喜

【編集後記】

暑い夏も終わり実りの秋がやってきました。「秋」といえば、食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋など様々な呼び名があります。紅葉する木々を眺めお酒を飲みながら秋の味覚を楽しむのもいいですね。「美味しく」そして「楽しく」秋を満喫したいものです。

さて、これから気温が下がり寒くなってきます。時節がらどうぞ自愛ください。

次号は1月に発行を予定しています

広報委員 上月稔彦

うららだより 48号

発行日 平成27年10月1日

発行者 山本 正博
編集者 広報委員会

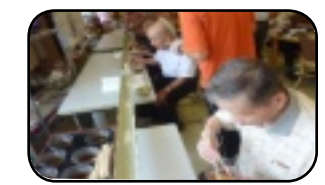
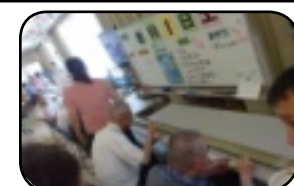


医療法人社団康明会 介護老人保健施設うらら
〒651-1603 神戸市北区淡河町淡河574
TEL 078-950-5177 FAX 078-950-5188
URL: <http://www.roken-urara.jp>



私たちは
地域のみなさまが
自分らしく生きるために
心のこもった医療と介護で
応援します。

うらら流し素麺大会



昨年も好評だった流し素麺を今年も行いました。連日30度を越える真夏日が続く中みなさん大喜びで召しあがられてました。季節を感じられる1日となりました。介護福祉士 山根志津

デイ

リコ - ダ - 部がやってきた！！



8月29日に、淡河中学校のリコ - ダ - 部の生徒さんが、演奏に来てくれました。4本の笛から奏でられる美しい音色にうっとり！！聞き惚れてしまいました。

演奏後は学生さんに質問などして、大いに盛り上がり、楽しいひと時でした。若さと音楽の素晴らしさを体感しました。

淡河中学校の皆さん有難う！！
介護福祉士 石野 五月

2階

今年も昨年大好評だった「ハーラウオカプアクワイ ラウレア イカヒキナ」の皆さんに9月の誕生日会に来ていただきました。色々なハワイアンミュージックに合わせて踊るフラダンスに利用者様も見とれていました。

まるで本当にハワイに来た様な感覚に陥りました。女性利用者様の中には踊ってみたいと言われていた方もおられました。



介護福祉士 佐藤 譲

3階

9月9日 恒例の西山牧場への外出は、あいにくのお天気で中止になりましたが、カレーライスとアイスクリームをテイクアウトし、家族様も一緒にお食事会とさせていただきます。ちょっぴり辛めのカレーでしたがご家族との会話も弾み沢山召し上がられました。アイスクリームは、ミルク、抹茶、メロン、チョコと様々な種類の中からご自身で選んでいただき食べていただきました。

牧場で新鮮な空気と景色、動物とのふれあいはできませんでしたが、貴重な時間を過ごすことができました。



介護福祉士 藤枝絵里

第11回うらら夏祭り



8月23日(日曜日)17:00~19:30 第11回うらら夏祭りを開催しました。夏祭り担当スタッフ11名が一丸となり、スローガン『気配り・目配り・おもてなし』をかけた試行錯誤し計画しました。そのかいあってか、天気は晴天！340名様の参加の中、地域の方々・ボランティア・家族様・業者様のご協力を頂き、大いに盛り上がりました。また吉川太鼓による心に響く鼓動、振り付けに圧巻。上野丘エイサー隊による霊を浄める演奏と踊り・淡河婦人会による東京音頭・炭坑節に合わせての盆踊り・模擬店(焼きそば・フルーツ・コロッケ・ジュース・的当てゲーム)・抽選会(布団乾燥機・ネスレコーヒーマーカー・電動歯ブラシなど豪華賞品)を行い、普段は見られない利用者様の一面を沢山見ることができました。また、涙を流しながら喜び姿や活き活きとした表情で手拍子する姿、自ら踊りの中に入っていられる方がおられ、利用者様と家族様の様子を伺っていると、うららスタッフ一同、心が癒される有意義なひと時でした。夏祭りの余韻を残しながら次の日を迎えると、面会に来てくださった家族様から、「最高のおもてなしでした。ご苦労様です。父・母の元気な姿、スタッフの方々の愛情ある対応に胸が熱くなりました。」と、喜びの声をいただきました。

行事委員長 安福 章

